

登録コード	HM229100	開講年度	2026				
授業題目	成人保健学演習 A				担当教員	下里 誠二	
英文授業名	Practice in Adult Health Science A				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・5時限 月曜・6時限	対象学生	成人保健学ユニット／1年次
講義室			授業形態	演習	備考	選択科目	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄				(授業の達成目標)		
	2026HM保健学分野初, 2025HM保健学分野初, 2024HM保健学分野初, 2023HM保健学分野初						
	【研究科共通_2024年度以前かつu18対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観 ⇄				精神保健領域での高度専門職業人としての倫理を理解して研究計画に反映することができる		
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能 ⇄				精神保健領域での世界的な潮流を述べることができる。		
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力 ⇄				精神保健領域で臨床実践に応用可能な研究計画を作成できる		
(2)詳細/Detailed information	研究論文の講読とプレゼンテーションを通じて特に精神保健医療,福祉領域でのケアにおける概念やエビデンスをもとに系統的な情報収集、分析能力を高め、臨床研究の方法論を修得する。						
(3)授業の概要/Overview of course	精神保健医療福祉における重要文献を選定し、内容、背景について討論することにより以下を到達目標とする。 ・精神保健福祉医療に関する重要な概念を理解し説明できる。 ・精神保健福祉医療に関するリサーチクエスションの設定に必要な情報収集ができる ・精神保健福祉医療に関する実証的研究の手法について説明できる なお本授業は遠方に居住する学生に対して、十分な教育を提供することを目的として、オンラインによる「遠隔授業」として開講します						
(4)授業計画/Course plan	第1～3回：文献レビュー（精神保健における重要な概念1） 第4～6回：文献レビュー（精神保健における重要な概念2） 第7～9回：文献レビュー（精神保健における主要な研究） 第10～12回：精神保健における研究の方法と倫理的配慮 第13～15回：精神保健におけるリサーチクエスションの設定						
(5)成績評価の方法・基準/Grading/evaluation method/evaluation criteria	プレゼンテーションの（毎回）内容（80%）、ディスカッション（毎回）の内容（20%）で評価する。 (i) 問題の設定が適切であり, (ii) その問題の背景を説明できており, (iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており, (iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており, (v) その上で自分の見解を提示できており, かつ, 教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。4項目までできていれば「やや上にある（良）」。3項目までできていれば「水準にある(可)」。						
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep work/Textbook(s)/Reference work(s)	関連文献について事前事後学習を含め十分に調査する。 毎回、当日回での確認事項、次回の課題を提示し、次回の講義でプレゼンテーションする。 Zoomのアドレスは年間通して同じものを初回授業の前に提示します						
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時相談に応じます。学部実習等により在室時間が一定しないため、事前にメールでご連絡の上研究室に来てください。 下里研究室　：保健学科中校舎4階 メール　　：sshimos@shinshu-u.ac.jp						
(8)授業の形式/Course format	プレゼンテーション、ディスカッション						